

ファイナンシャルプランナーが考えた

# 「ミニ保険」 コンテストの ご案内

日本少額短期保険協会

# ファイナンシャルプランナーが考えた 「ミニ保険」コンテストとは？

ファイナンシャルプランナーの皆様の専門的知見から  
考えていただいた「ありそうでなかった」、  
「あったらいいな」と思う保険のアイデアを  
ご応募いただく企画です。

本コンテストは2015年から日本少額短期保険協会が開催している  
「**少額短期保険（ミニ）の日記念イベント**」で毎年発表している名物企画「おもしろミニ保険大賞コンテスト」を  
発展させた企画です。専門性を有するファイナンシャルプランナーの皆様から、保険のアイデアをを応募いただき  
優秀賞を決めるコンテストとして実施するものです。

# 少額短期保険（ミニ保険）の日 記念イベントとは？

少額短期保険は2006年に登場した保険です。少額かつ短期間の保険を専門に扱う新しい保険業態で、「ミニ保険」とも呼ばれています。消費者の皆様により身近に少額短期保険を知っていただくことを目的として「ミニ」との語呂合わせから**3月2日**を記念日登録し、毎年同日に業界挙げてのイベントを実施しています。

## 過去のイベント企画

おもしろミニ保険大賞コンテスト



少額短期保険大賞



パネルディスカッション



終活セミナー



# おもしろミニ保険大賞コンテストとの違い

## ファイナンシャルプランナーが 考えたミニ保険コンテスト

応募はファイナンシャルプランナーの方のみに限定。  
優秀賞は1作品のみ。選定は少額短期保険会社による投票で決定。おもしろミニ保険大賞と比較し、詳細な商品アイデアが求められます。

ファイナンシャルプランナーの方  
限定

## おもしろミニ保険 大賞コンテスト

一般消費者の方なら、どなたでも申込可能。  
「ありそうでなかった」「あったらいいな」というアイデアであれば、どんなアイデアでも応募可能。

誰でも応募可能

# ファイナンシャルプランナーが考えた 「ミニ保険」コンテスト

## アイデアのヒント



ファイナンシャルプランナーの皆様からご応募いただく  
アイデアのヒントとして、公益性と実現性を両立した保険であること。  
加えて斬新さ（これまでの保険ではなかった）が備わっており、  
マーケットやターゲットなどが明確であればベストです。

- ①公益性のある保険商品として相応しいか
- ②実現性
- ③斬新性
- ④消費者に受け入れられるか（ターゲットやニーズの想定）

# ファイナンシャルプランナーが考えた 「ミニ保険」コンテスト 過去の最優秀作品①

## 仕事を続けながら介護を する人を応援する保険

親族が要介護認定されると、その契約者である子どもが保険金を受け取ることができる。

ただし、保険金の受け取り条件は就労が条件。  
という変わった要件が入ってくる。

離職を防ぐのだから、離職をすると保険金の支給が終わってわってしまうか、減額された一時金を受け取ることができる。

付帯サービスは、介護離職相談などのNPOとの連携による相談サービス。介護についてのセミナーなど。サポートを充実した付帯サービスを付けることができる。

## アイデアの狙い

年間10万人の人が介護を理由に離職しています。しかし、介護離職というのは共倒れになる危険性を孕んでいます。

また、自分の老後資金を貯めることができないし、年金も少なくなり、自分の老後破綻を招く可能性もあります。そこで、介護離職をしないための保険です。介護のために優秀な社員がやめていくのは、企業にとっても本人にとってもマイナスになります。企業が社員ののために備える保険という位置づけもできると考えます。

## 主要ターゲット

厚生労働省「雇用動向調査」によると、男性は50～54歳が多く、女性は60～64歳が最も多くなっています。ただ40代の介護離職もあるので、それに備えます。

企業が優秀な人材が、介護離職によって退職をするというリスクを回避する保険なので、団体保険のような感じでの販売ができればと考えます。

つまり、人材確保のための保険になります。

## 保険料など

### 【保険料と保険金額】

保険期間を65歳に設定することで、保険料を安めにできるのでは？

保険金額は、要介護になった場合には毎月2～3万円。

保険料は、年齢により月額1000円～3000円

やむを得ず介護離職した場合には、減額をした一時金を給付

### 【保険金受取り】

親族が要介護2以上。保険期間：65歳

# ファイナンシャルプランナーが考えた 「ミニ保険」コンテスト 過去の最優秀作品②

## 自動車免許返納後の 通院費用保険

主契約は定期保険。特約で、満期金付き通院費用補償。自動車免許返納後に病院へ通院をするたびに、通院費用補償が支払われます。距離によって、往復5000円、1万円、2万円などを設定。外来通院の領収書をスマホで写真を撮って送ることで請求し、3営業日以内に給付金が支払われます。満期金が年間の請求上限。満期金の運用利率が高ければ少しプラスになる。

## アイデアの狙い

昨年から89歳の父の透析が始まり、週3日病院が用意したバスに乗って隣町へ通院しています。免許返納を予定しているものの、今はまだ近くなら運転して出かけています。病院は車で片道40分程度かかり、診察や処置などを受けた帰りも運転して帰るのは心配なのと、医師の説明を理解しきれないこともあるので、兄弟が交代で仕事を休んでドライバーを務めています。中には子供がいらないか、いても頼れない人もいます。自治体で異なるとはいえ、免許を返納しても大した補助がなく、バスは市内の移動専用で、市外の病院への通院には利用できません。超高齢社会において、社会問題でもあります。福祉で足りない部分を補うサービスとして、免許返納高齢者の通院時に給付金があり、タクシー代に充てられる保険は重要です。

## 主要ターゲット

自分や親の老後や通院リスクを自覚する40代～65歳。

## 保険料など

### 【保険料と保険金額】

保険金額100万～300万円。満期金付き通院費用補償特約は5～50万円から選択。保険料は、保障額や満期金額、年齢、性別で異なる。高くても1万円程度。

### 【保険金受取り】

主契約（定期保険）：死亡・高度障害・要介護4以上

特約（満期金付き通院費用補償）：自動車免許返納後に病院へ通院時。請求がなかった場合は、1年ごとに満期金を受け取れ、請求があっても、満期金との差額分があれば受け取れる。



# ファイナンシャルプランナーが考えた 「ミニ保険」コンテスト 賞品

少額短期保険会社による最多得票を獲得した1作品が最優秀賞となります。  
複数のアイデアをご応募いただくことも可能です。  
メール添付の専用フォームにアイデアを記載して奮ってご応募ください。



ギフトカード50,000円分



記念トロフィー

応募締切 2月16日(金)AM12時まで  
アイデア応募先 [info@syougakutanki.org](mailto:info@syougakutanki.org)



# ファイナンシャルプランナーが考えた 「ミニ保険」コンテスト

ファイナンシャルプランナーの皆様からの応募を  
お待ちしております。

優秀賞は2024年3月1日の  
記念イベントで発表します！